

2024年6月26日

お客様各位

新潟県労働金庫

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当金庫の2024年3月期決算の概要、2025年3月期事業計画の概要、および
役員改選についてご案内いたします。

敬具

2024年3月期決算の概要

1. 収支の状況

| 項目 | 当 期 | 前 期 | 対前期増減額 | 対前期増減率 |
|-----------|-----------|-----------|---------|--------|
| 経 常 収 益 | 107億82百万円 | 106億 4百万円 | 1億78百万円 | 1.67% |
| 経 常 費 用 | 83億70百万円 | 82億55百万円 | 1億15百万円 | 1.39% |
| 経 常 利 益 | 24億11百万円 | 23億49百万円 | 62百万円 | 2.63% |
| 特 別 利 益 | - 百万円 | - 百万円 | - 百万円 | - % |
| 特 別 損 失 | 53百万円 | 32百万円 | 21百万円 | 65.62% |
| 税引前当期純利益 | 23億58百万円 | 23億16百万円 | 42百万円 | 1.81% |
| 法人税等合計 | 5億94百万円 | 5億85百万円 | 9百万円 | 1.53% |
| 当 期 純 利 益 | 17億64百万円 | 17億31百万円 | 33百万円 | 1.90% |
| 業 務 純 益 | 23億38百万円 | 23億87百万円 | 49百万円 | 2.05% |
| 実質業務純益 | 23億45百万円 | 23億87百万円 | 42百万円 | 1.75% |
| コア業務純益 | 30億21百万円 | 30億78百万円 | 57百万円 | 1.85% |

(注) 業務純益 = 業務収益 - (業務費用 - 金銭の信託運用見合費用)

実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

(1) 経常収益

貸出金利息は、貸出金平均残高が増加したものの、貸出金利回りが低下したことから、前期に比べ25百万円減少しました。

預け金や有価証券などの余裕金利息は、余裕金平均残高が減少したものの、有価証券利息配当金が増加したことなどから、前期に比べ4億6百万円増加しました。

労働金庫連合会から受け取る利用配当金は、前期に比べ16百万円増加しました。

また、日本銀行による地域金融強化のための特別利息(注)は、前期に比べ2億39百万円減少しました。

以上により、資金運用収益は、前期に比べ1億57百万円増加しました。

このほか、資金運用収益以外の収益が前期に比べ20百万円増加した結果、全体の経常収益は、前期を1億78百万円上回る107億82百万円となりました。

(注) 経営基盤強化に取り組む金融機関を支援するもので、経費削減に係る所定の要件を満たした場合に、日銀の当座預金に金利が0.1%上乘せされる。

日銀に当座預金を持たない当金庫は、金利上乘せにかえて、労金連合会の日銀当座預金残高に基づき算出された利息相当額を受け取った。

(2) 経常費用

預金利息は、預金平均残高が減少し、預金利回り(譲渡性預金含む)が若干低下したことから、前期に比べ10百万円減少しました。

役務取引等費用は、融資残高の増加や保証料率の上昇により保証協会への保証料支払が増加したことなどから、前期に比べ78百万円増加しました。

余裕金運用では、有価証券売却損が前期に比べ16百万円減少しました。

経費は、物件費において労働金庫連合会のオンライン運行経費が増加したことや新券対応費用を計上したことなどから、前期に比べ54百万円増加しました。

これらの結果、全体の経常費用は、前期を1億15百万円上回る83億70百万円となりました。

(3) 経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、前期を62百万円上回る24億11百万円となりました。

コア業務純益は、資金運用収益が増加したものの、役務取引等費用や経費が増加したことなどから、前期を57百万円下回る30億21百万円となりました。

(4) 特別利益および特別損失

特別利益の計上はありませんでした。

特別損失は、仮店舗の除却費用を計上したことなどから、前期に比べ21百万円増加しました。

(5) 当期純利益

経常利益から特別損失を差し引いた税引前当期純利益は、前期を42百万円上回る23億58百万円となりました。税引前当期純利益から、法人税等合計5億94百万円を差し引いた当期純利益は、前期を33百万円上回る17億64百万円となりました。

2. 主要勘定の状況

| 項目 | 当 期 | 前 期 | 対前期増減額 | 対前期増減率 |
|-------|-------------|-------------|----------|--------|
| 預 金 | 8,994億23百万円 | 9,013億33百万円 | 19億10百万円 | 0.21% |
| 貸 出 金 | 3,824億44百万円 | 3,771億58百万円 | 52億86百万円 | 1.40% |

(1) 預 金

物価高や新型ウイルス禍で落ち込んだ個人消費の回復に伴う預金払戻しのほか、新NISAの開始に伴い貯蓄から投資の動きが一段と加速したこと等により、財形貯蓄を含む定期性預金を中心に預金残高が減少する傾向が続きました。

この結果、残高増加額は19億10百万円(前期97億75百万円)、残高増加率は0.21%となりました。

(2) 貸 出 金

新設住宅着工戸数が前年比で減少するなど、前年と同様に厳しい融資環境となりましたが、他行住宅ローンからの借換専用商品の新設や、生協および企業・団体内互助会会員向けの住宅ローン金利の見直しを行ったほか、各会員の協力のもとで開催した融資関連セミナーや、顧客のニーズに合わせたきめ細やかな相談・提案など、融資利用拡大に向けて様々な取組みをすすめてきました。

この結果、残高増加額は52億86百万円(前期30百万円)、残高増加率は

1.40%となりました。

3. 主な諸比率・諸利回りの状況

(1) 諸比率

| 項目 | 当 期 | 前 期 | 対前期増減 | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|
| 自己資本比率 (国内基準) | 16.94% | 16.75% | 0.19% | |
| 預 貸 率 | (残 高) | 42.52% | 41.84% | 0.68% |
| | (平 残) | 41.82% | 41.35% | 0.47% |

(2) 諸利回り

| 項目 | 当 期 | 前 期 | 対前期増減 |
|----------|---------|---------|---------|
| 貸出金利回り | 1.71% | 1.74% | 0.03% |
| 預け金利回り | 0.28% | 0.26% | 0.02% |
| 有価証券利回り | 1.72% | 1.48% | 0.24% |
| (余裕金利回り) | (0.53%) | (0.46%) | (0.07%) |
| 資金運用利回り | 1.05% | 1.04% | 0.01% |
| 預金利回り | 0.02% | 0.02% | - % |
| 経 費 率 | 0.66% | 0.64% | 0.02% |
| 預金原価率 | 0.68% | 0.66% | 0.02% |
| 資金調達原価率 | 0.68% | 0.67% | 0.01% |
| 預金貸出金利鞘 | 1.03% | 1.08% | 0.05% |
| 総資金利鞘 | 0.37% | 0.37% | - % |

(注) 預金原価率 = 預金利回り + 経費率

資金調達原価率 = (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用 + 経費) ÷ 資金調達勘定計平残

預金貸出金利鞘 = 貸出金利回り - 預金原価率

総資金利鞘 = 資金運用利回り - 資金調達原価率

4. 不良債権の状況 (労働金庫法及び金融再生法上の不良債権)

| 項目 | 当 期 | 前 期 | 対前期増減額 | 対前期増減率 |
|-------------------|----------|----------|---------|---------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 12億30百万円 | 11億 5百万円 | 1億25百万円 | 11.31% |
| 危険債権 | 16億68百万円 | 14億73百万円 | 1億95百万円 | 13.23% |
| 要管理債権 | 5億31百万円 | 84百万円 | 4億47百万円 | 532.14% |
| 合 計 | 34億30百万円 | 26億63百万円 | 7億67百万円 | 28.80% |
| 不良債権比率 | 0.90% | 0.71% | 0.19% | |

不良債権の合計は、前期に比べ7億67百万円増加し、34億30百万円となりました。

この結果、貸出金全体に占める不良債権の割合は、前期に比べ0.19ポイント上昇し、0.90%となりました。

2025年3月期事業計画の概要

1. 基本方針

当金庫は、ろうきんの理念および今後のめざす姿（ろうきんビジョン・ろうきんSDGs行動指針）の実現に向けて、2023年度からの3カ年計画として<中期経営計画2023>を策定しています。

本中期経営計画では、全ての会員とのつながりを一層強めることで労金運動の基盤をより強化するとともに、勤労者一人ひとりに寄り添った“ろうきんらしい”相談・提案活動の実践を通じて、ろうきんの役割を発揮し、事業を継続させるために必要な収益確保につとめることとし、次の2つを基本方針としています。

（1）協同組織の福祉金融機関であるろうきんの独自性と役割の発揮

会員と協働した取組み

生涯にわたり一人ひとりに寄り添った多面的な金融サポート
持続可能な地域社会づくりへの貢献

（2）信頼され、必要とされ続けるための経営基盤強化

職員の成長支援と働き甲斐のある組織風土の構築

持続的な収益力の強化

デジタル化・非対面チャネルの充実

生産性向上に資する組織づくり

リスク管理態勢の強化

2. 収支計画

| 項目 | 金額 | 対前期増減額 |
|-------|-----------|---------|
| 経常収益 | 107億27百万円 | 55百万円 |
| 経常費用 | 87億43百万円 | 3億73百万円 |
| 経常利益 | 19億84百万円 | 4億27百万円 |
| 当期純利益 | 14億76百万円 | 2億88百万円 |

3. 主要勘定計画

| 項目 | 期中増加額 | 期末残高 | 対前期増減率 |
|-----|-------|-------------|--------|
| 預金 | 10億円 | 9,004億23百万円 | 0.11% |
| 貸出金 | 20億円 | 3,844億44百万円 | 0.52% |

役 員 改 選

今総会は役員改選期にあたり、理事・監事の選任を行いました。

1. 理事(常勤)の体制

| | | |
|-------|------------|-----------------|
| 理 事 長 | やまざき 山崎 | まさひこ 雅彦 (新任) |
| 専務理事 | つるまき 鶴巻 | ようすけ 洋介 |
| 常務理事 | むらやま 村山 | よしのり 義則 |
| 常務理事 | にしやま 西山 | つとむ 勉 |

ほかに非常勤理事 17名

なお、理事長の齋藤^{さいとう} 敏明^{としあき}は退任いたしました。

2. 監事(常勤)の体制

| | | |
|------|-------------|-----------|
| 常勤監事 | はせがわ 長谷川 | たてあ 建雄 |
|------|-------------|-----------|

ほかに非常勤監事 4名

以 上

| |
|--|
| 本件に関するお問い合わせ先 経営企画部 高橋、鷲尾 TEL 025-223-8207 |
|--|

労働金庫は「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」です。
今後ともご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。